

部屋を整える(本体が落下する場合があります)

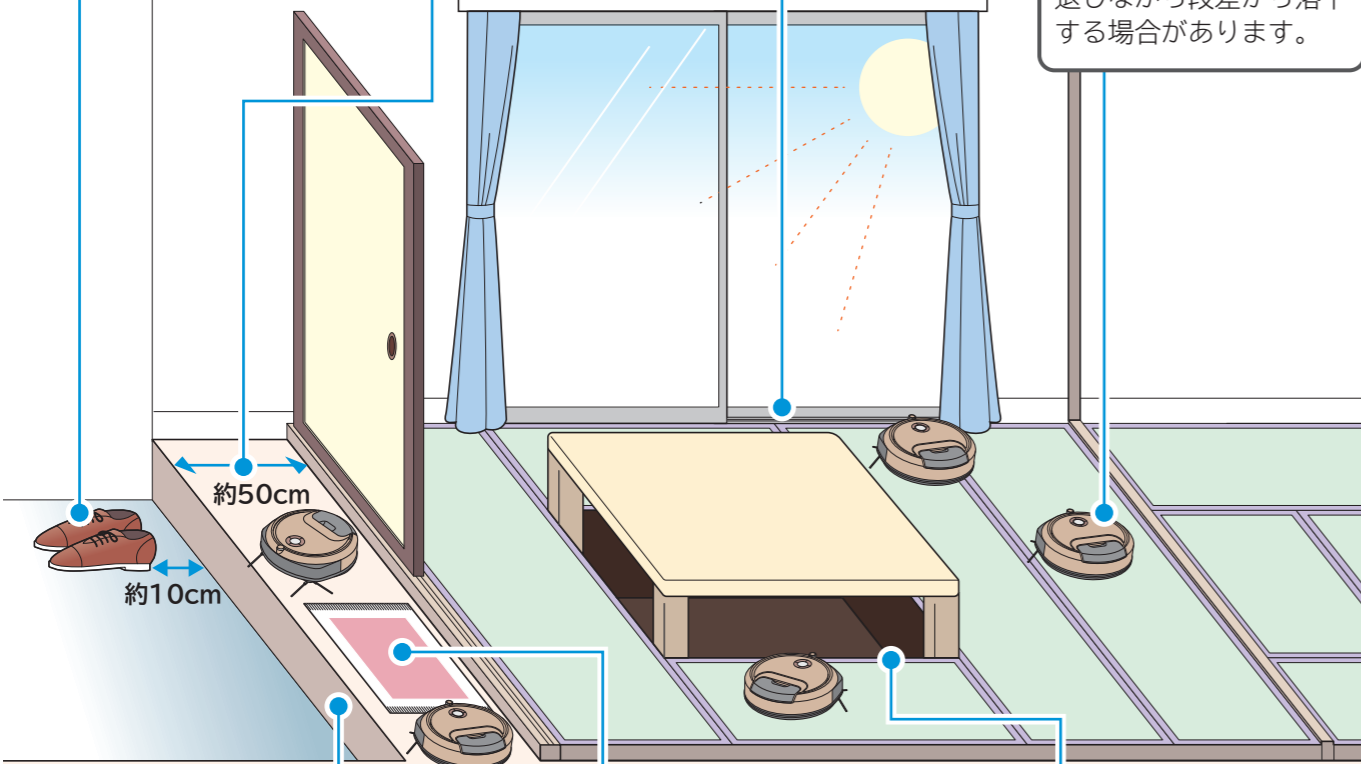
落下を防ぐために、落下のおそれがある場所の手前に壁代わりになるものを置いてください。

段差付近の靴は
段差から約10cm以上離して置く。
段差センサーが段差と認識せずに落下する場合があります。

壁から段差までの幅が約50cm以下の場所は
使用しない。
後退しながら、落下する場合があります。

掃き出し窓は
閉める。
段差センサーがサッシなどを段差と認識せずに落下する場合があります。

日光が当たる場所は
カーテンなどで日光を遮る。
日光の赤外線が本体に当たると、日光のあたる場所を避けようとして、後退しながら段差から落下する場合があります。

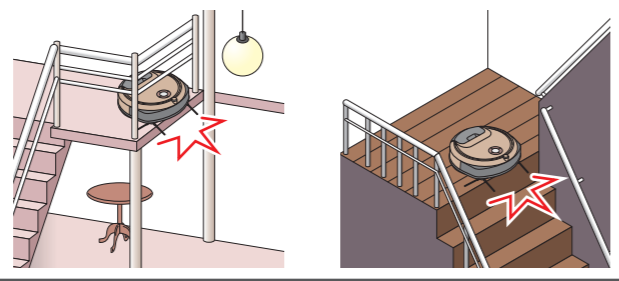


約5cm以下の段差は
壁代わりになるものを前に置く。
段差センサーが段差と認識せずに直進しながら落下する場合があります。

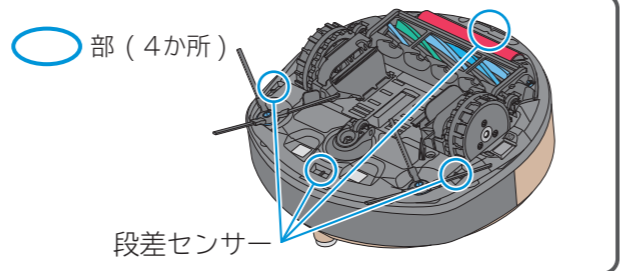
段差付近のじゅうたんやマットなどの敷物や本体の下に入り込む小物は
片づける。
本体が物に乗り上げたり引っ掛かったときに、段差センサーが段差と認識せずに落下する場合があります。

掘りごたつは
周辺に壁代わりになるものを置くか、ふたをする。
段差センサーが段差と認識せずに落下する場合があります。

落下防止柵のないロフト、吹き抜けに面した廊下、階段の踊り場は
使用しない。
万が一本体が落下した場合は破損・けがの原因となります。



お願い 段差センサーは定期的にかいてください。また、汚れているときもかいてください。→(P.23)
段差センサーが汚れると、段差の高さによらずに落下する場合があります。
やわらかい布に水を含ませ、よく絞ってからかいてください。



日立ロボット掃除機 RV-DX1

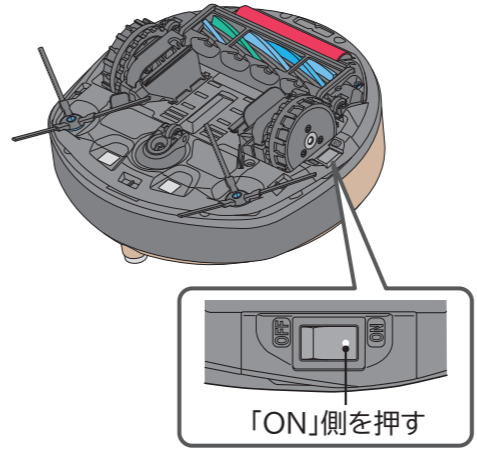
カンタンご使用ガイド

詳しくは「取扱説明書」をご覧ください。
また「取扱説明書」の「安全上のご注意」をお読みいただき、正しくお使いください。

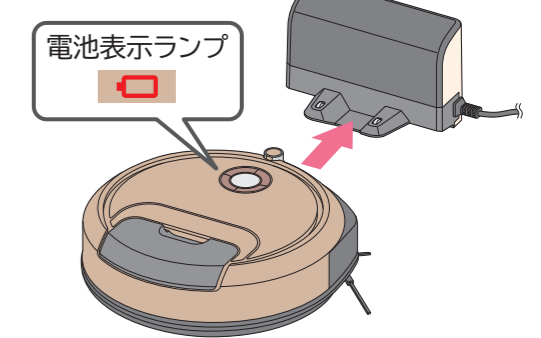
充電する

お買い上げ時は電池が十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。
(充電時間は約3時間です)

1 主電源スイッチを「ON」にする



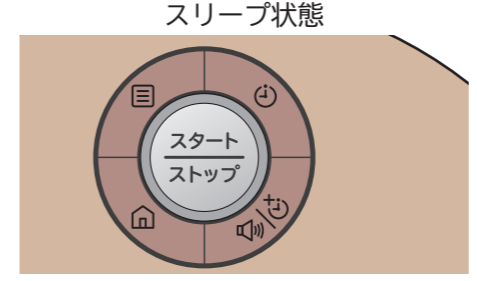
2 本体を充電台にセットする



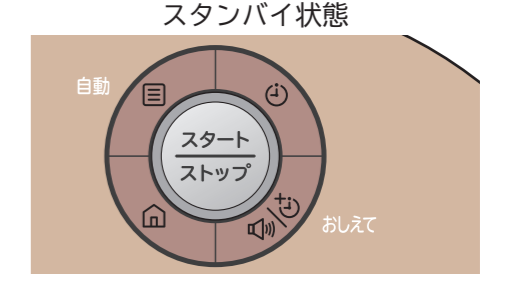
電池表示ランプ	充電状態
点灯	充電中
消灯	充電完了(満充電)

運転のしかた

1 スタンバイ状態にする



「スタート/ストップ」を押す

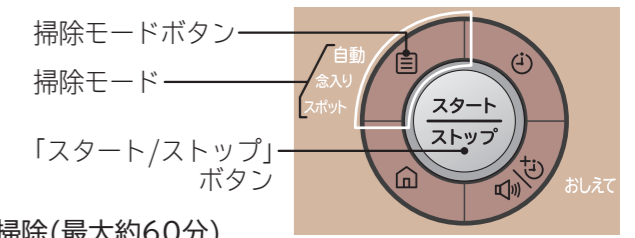
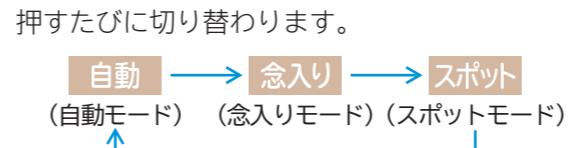


約5分間操作なし

ランプ・表示がすべて消灯

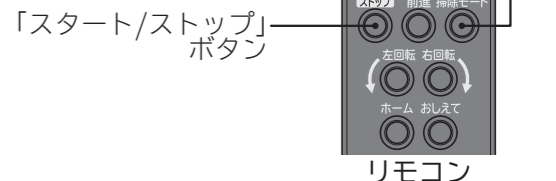
掃除モードや「おしえて」ランプが点灯・点滅します。

2 本体の (掃除モード) またはリモコンの (掃除モード) を押して、掃除モードを選択する



自動モード : 自動で走行方向を変えながらランダムに掃除(最大約60分)
念入りモード : 自動モードより長い時間掃除(約70分)
スポットモード : 直径約60cmの範囲内を強い吸込力で掃除

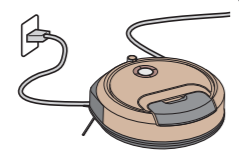
3 本体の (スタート/ストップ) またはリモコンの (スタート/ストップ) を押して、運転を開始する



部屋を整える(掃除の前に)

お部屋の整理をすることで、スムーズに掃除できるようになります。吸い込まれると困る物、本体の移動を妨げる物、回転ブラシ・サイドブラシ・車輪に巻き込まれやすい物は片づけてください。片づけられない場所では、家具や床面などを傷つける原因となります。

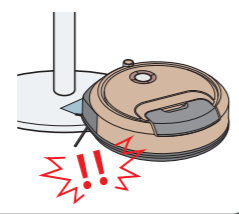
電源コードなどは
片づける。
本体が引っかかる場合があります。



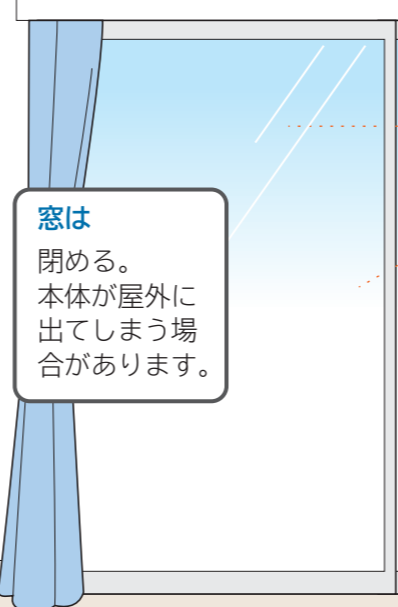
ひも・ベルトなど細長いものは
片づける。
サイドブラシや回転ブラシなどに巻き込まれる場合があります。



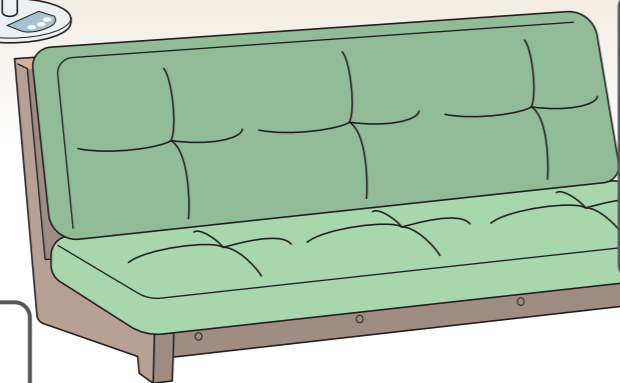
本体より低い高さに操作部がある電化製品は
移動する。
本体が当たって、操作部を押したり、本体が停止したりする場合があります。



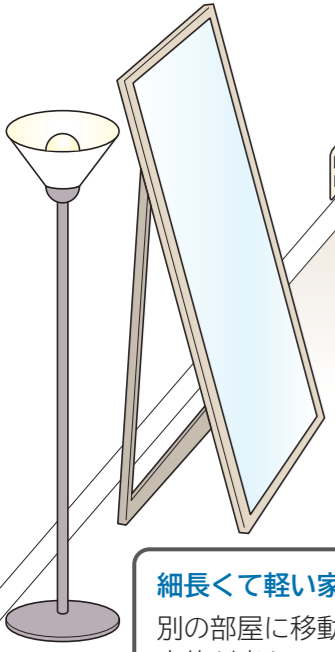
窓は
閉める。
本体が屋外に出してしまう場合があります。



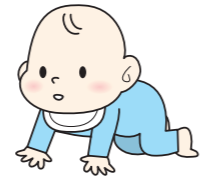
床との隙間が本体の高さと同じくらいであったり、隙間が一定でない家具は
壁代わりにするものを前に置く。
本体が引っ掛かって、家具の下から出られなくなる場合があります。



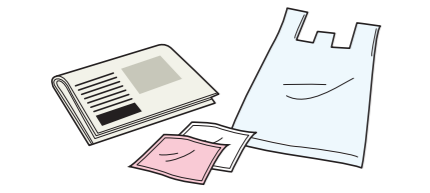
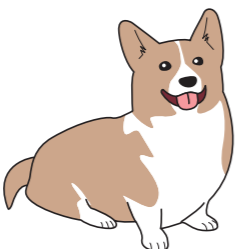
細長くて軽い家具は
別の部屋に移動する。
本体が当たって転倒する場合があります。



赤ちゃんがいる部屋では
使用しない。
本体が当たってけがをする場合があります。

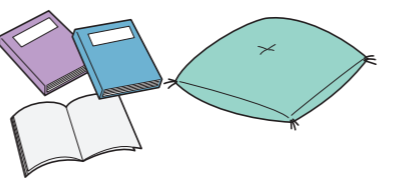
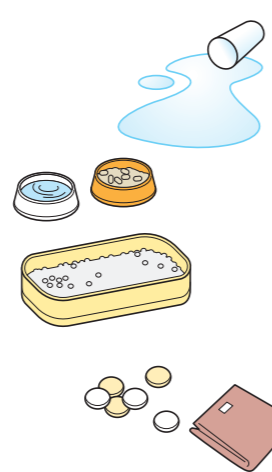


ペットは
ケージやサークルに入れるか、別の場所に移動する。
本体が当たってけがをする場合があります。



薄い紙や布・ビニール袋などは
片づける。
サイドブラシや回転ブラシなどに巻き込まれる場合があります。

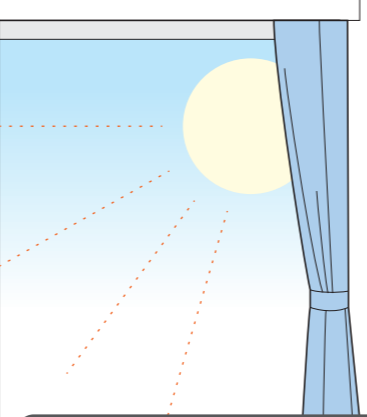
ペットの排泄物や液体は
片づける。
吸い込むと故障の原因になります。



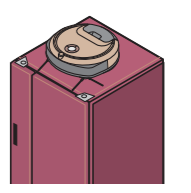
座布団・布団・本・雑誌など、移動を妨げるものは
片づける。

吸い込まれやすい小物や高価なものは
片づける。

日光は
遮る。
日光などの赤外線が本体や充電台に当たると、本体がその場所を避けたり、充電台に戻れなくなる場合があります。



冷蔵庫や家具の上、キャットウォークなどの狭くて高い場所では
使用しない。
落下する場合があります。

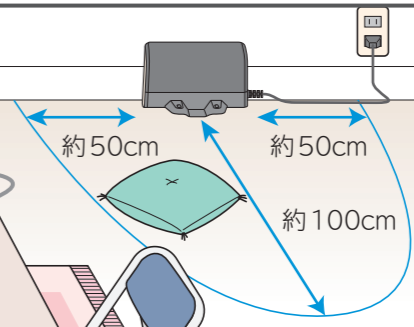


カーテンなど床に垂れ下がったものは
上げる。
サイドブラシや回転ブラシなどに巻き込まれる場合があります。



充電台は
壁に沿わせて置く。
(本体に押されて充電台が移動するのを防ぐため)
また、充電台の電源コードは本体が引っ掛からないよう、壁に沿わせてください。

充電台の前方約100cm、左右約50cmの範囲は
物を置かない。
本体が自動で充電台に戻れなくなる場合があります。



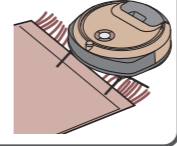
火のついたろうそく・たばこ・線香などや壊れやすいものは
テーブルなどの高い場所に置かない。
本体が接触した衝撃で落下する場合があります。また、床にも置かないでください。



傷つきやすい建具、家具、敷居は(例：土壁・障子・ふすま・びょうぶなど)
壁代わりにするものを前に置く。
本体が当たって傷をつける場合があります。

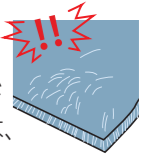
脚と脚の間が狭いイスやパイプイスは
片づける。
本体が挟まって抜けなくなったり、引っ掛かったりして、停止する場合があります。

飾り房が付いている敷物や座布団は
片づける。
サイドブラシや回転ブラシなどに巻き込まれる場合があります。

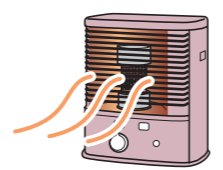


ドアは
きちんと閉めるか、完全に開いた状態でストッパーなどで固定する。
また、本体を入れたくない部屋がある場合は、部屋のドアを閉める。

毛足の長さが約2cmを超えるじゅうたんなどの敷物は
片づける。
運転が停止したり、毛足がサイドブラシに絡みつき、敷物やサイドブラシを傷める場合があります。また、毛足の材質などによっては、2cm以下でも運転を停止することがあります。



暖房器具(ストーブ)など高温になるものは
使用しない。



お風呂マット・台所マット・じゅうたんなど薄くて滑りやすい敷物や滑り止め用ゴムマットなど粘性のある薄い敷物は
片づける。
本体が敷物を押して、敷物やサイドブラシを傷める場合があります。

